

JMFF

日機連週報

第3526号 2025年10月31日(金)

CONTENTS

● RRI活動報告

- ・日米欧ディスカッション・ペーパー「産業の持続可能性に関する日本、米国、欧州の相互分析—国際協業のために—」を発表
—RRI、米国のCESMIIとドイツのPlattform Industrie 4.0との共同—
- ・第1回全体会合を開催。引き続き、会員を募集中。
— 全国ロボット・地域連携ネットワーク(RINGプロジェクト)の活動 —
- ・データスペースの技術コンセプト「Open Data Spaces」の共同推進を合意
— 我が国の主要なデータスペースの技術的取組が連携され、国際相互運用性確保に前進 —

● 日機連の動き

ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI)
オンライン【工業会横断セミナー スマート製造の旅 #8】の開催について

● 会員イベント情報

(一社)情報通信ネットワーク産業協会 TL9000セミナー「導入コース」のご案内

● お知らせ

(一社)日本エレベーター協会 11月10日は「エレベーターの日」
「エスカレーター・エレベーター安全利用キャンペーン実施」のお知らせ
(一社)ビジネス機械・情報システム産業協会
「CE学習システム2025」受験申込スタートのお知らせ
厚生労働省 「SDS電子化補助金事業」の期限延長について

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

● RRI活動報告

日米欧ディスカッション・ペーパー「産業の持続可能性に関する

日本、米国、欧州の相互分析－国際協業のために－」を発表

－RRI、米国の CESMII とドイツの Plattform Industrie 4.0 との共同－

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)は、[CESMII\(Collaborative Ecosystems for Smart Manufacturing Innovation Institute, 米国\)](#)および [Plattform Industrie 4.0\(ドイツ\)](#)と共同で、産業の持続可能性の将来に関する共同ディスカッション・ペーパーを発表しました。

製造業は、自然災害の激化や地政学的リスクの高まりなど、ますます厳しい環境に直面しています。さらに、優秀な人材の確保は製造業の事業継続にとって長年の最重要課題であり、生成型 AI や自動化設備の業務適用に向けた取り組みは、人材確保のボトルネックとなっています。こうした労働力や地球環境といった課題に対し、日米欧の専門家は1年半にわたり、製造業の持続可能性について議論を重ねてきました。そして今、国際連携によって取り組むべき課題を明確化し、解決策をまとめたディスカッション・ペーパーを公表しました。

プロジェクトリーダーである(株)日立製作所の野中洋一氏は、次のように述べています。

「パンデミックとエネルギー危機は、日本、米国、欧州における社会の価値観、働き方、そして経済の優先順位を大きく変えました。こうした変化の中で、デジタル化が成長の原動力として台頭し、各地域の専門家は再び集結してその影響を再評価するとともに、国際協力を要する課題を特定しました。その過程では、率直な対話と相互の政策評価を通じて共通の理解を築き、将来の協力基盤を着実に強化してきました。本稿が、よりレジリエントで持続可能な産業の未来構築に向けた一助となることを期待しています。」

米国、CESMII CEO の John Dyck 氏は次のように述べています。

「世界的な混乱、人口動態の変化、そして急速なデジタル化が進む中、産業の持続可能性はレジリエンスの前提条件です。本稿では、日本、米国、ドイツによる、デジタルトランスフォーメーション、政策イノベーション、そしてセクター横断的な連携を通じた、これらの課題への取り組みを検証しました。私たちは、人間中心かつ環境に配慮した戦略と、信頼に基づく国際協力によって、より包摂的で適応力ある産業の未来を築くことができます。三国間の長年にわたる協力の成果を反映する本取り組みに貢献できたことを光栄に思います。」

ドイツ、Plattform Industrie 4.0 Spokesperson 兼 Siemens Fellow の Thomas Hahn 氏は次のように述べています。

「デジタル時代において、レジリエンス、持続可能性、競争力は産業戦略の基盤となります。特に、高齢化やデジタルスキルの不足といった課題が先進国経済において顕在化する中、戦略的な人員計画とアジャイルな運営の重要性は一層高まっています。こうした状況に対し、

ドイツは Plattform Industrie 4.0 や IM-X といったイニシアティブを通じ、各国が直面する共通課題への対応や資源の最適化に向けたグローバルパートナーシップを推進しています。本稿では、これらの取り組みに基づき欧州の知見を統合し、持続可能かつ適応力のある未来を実現するための国際協力の重要性を強調しています。」

詳細は、次の RRI ホームページを参照願います。

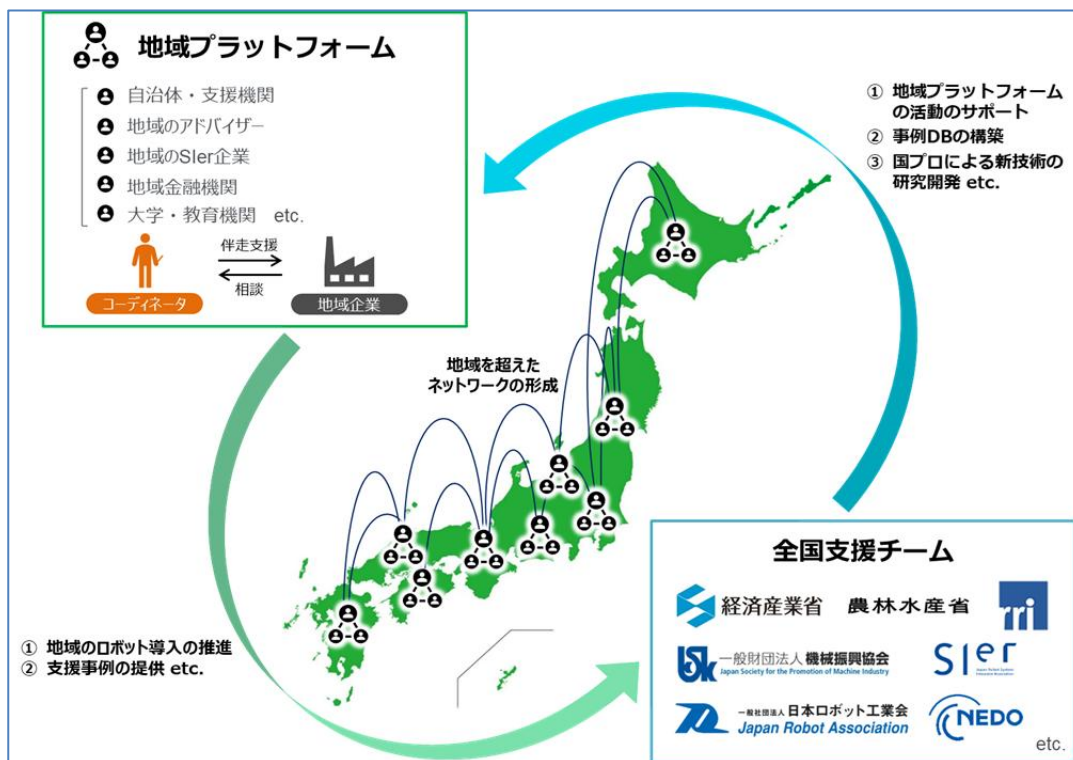
<https://www.jmfrri.gr.jp/info/7729/>

[ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)]

第 1 回全体会合を開催。引き続き、会員を募集中。

ー 全国ロボット・地域連携ネットワーク(RING プロジェクト)の活動 ー

地域の人手不足解消に向けて、オールジャパンで中小企業等のロボット導入支援の取組を加速させていくことを目的する「**全国ロボット・地域連携ネットワーク(略称 RING プロジェクト)**」が今年 6 月 30 日に発足して 3 カ月、この間、種々の活動を開始したことから、9 月 29 日(月)、第 1 回全体会合を開催、取組状況の共有及び会員相互の意見交流を図った。



全国ロボット・地域連携ネットワーク(略称 RING プロジェクト)全体イメージ

なお、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI)が本協議会の事務局を担当している。第1回全体会合の議事概要は次の通り。

第1回全体総会議事の概要

① 開会挨拶

東洋大学 松元教授

一般社団法人 日本機械工業連合会 田川副会長

② 主な議事

議事1 事務局からの報告

議事2. RING 取組みの進捗報告

議事3. 経済産業省からの報告

議事4. 農林水産省からの報告

議事5. 各地域からの検討課題の紹介

③ 閉会挨拶

経済産業省 製造産業局 産業機械課ロボット政策室 石曾根室長

本協議会の取組に関心や参画を検討したい自治体、支援機関、各種団体等の方の参画を募集しています。

詳細は、RRI のホームページ参照。

[全国ロボット・地域連携ネットワーク \(略称:RING プロジェクト\) - ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会](#)

[ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI)]

データスペースの技術コンセプト「Open Data Spaces」の共同推進を合意

～ 我が国の主要なデータスペースの技術的取組が連携され、

国際相互運用性確保に前進～

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA、理事長:齊藤裕)は、データスペースの技術コンセプト及びそれを構成する技術仕様として、新たに「Open Data Spaces」を我が国におけるデータスペース取組の共通仕様と位置付け、共同で持続的に改善、推進することを、一般社団法人データ社会推進協議会(DSA、代表理事:奥井規晶)、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI、会長:東原敏昭)、東京大学大学院情報学環(学環長:目黒公郎)と合意しました。

今回の合意を踏まえ、経済産業省が推進するウラノス・エコシステム関連の取組だけではなく、DSA が推進する DATA-EX、RRI における産業データ連携に関する国内外活動等を含む、我が国における主要なデータスペースの取組は、Open Data Spaces の技術的コンセプトのもと連携されることとなります。



出所:経済産業省



出所:DSA(一社)データ社会推進協議会

Open Data Spaces

出所:IPA (独)情報処理推進機構

以下、IPA より発表されたリリース文(2025 年 10 月 15 日)を掲載します。IPA の発表はリンクより確認ください。<https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2025/press20251015.html>

[ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)]

日機連の動き

○ 今後の会合予定

開催日時		会 合 概 要	場 所
11月	4日(火)– 5日(水)	第12回 GVC 研究委員会&第13回企業マネジメント研究委員会 合同見学会	広島市
	17日(月) 14:00~	会員講演会「現在のヒューマノイドロボットの経済的・社会的インパクトについて(仮題)」 講師:匠技新(上海)創業孵化器管理有限公司 IA 事業部 マネージャー 齋藤 慶太氏様	日機連会議室 1
	17日(月) 15:30~	ロボット大賞 第2回審査・運営委員会	日機連会議室 1・2
	25日(火) 12:15~	2025年度第2回総会及び関連行事	鐘山苑 3階 マーヴェラスホール

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI) オンライン【工業会横断セミナー スマート製造の旅 #8】の開催について

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)が 2025 年 12 月 24 日(火)15:00~17:00 に開催する予定のオンライン【工業会横断セミナー スマート製造の旅 #8】参加者募集についてお知らせします。

デジタル化の波は製造業を含むあらゆる業種に押し寄せています。その力は単なる効率化だけでなく、産業構造や社会を変える潜在力を持っています。我々はこの力を使って環境問題など多様な社会課題に立ち向かっていく必要があります。これらはもはや個社で対応できる範囲ではなく、産業界での協調の取り組みが必要となります。製造業においてもこの先 10 年、30 年先の在り方に向けた取り組みが始まっています。スマートマニュファクチャリング システム委員会では、「他者とのつながり」で価値創出を行うビジネス事例を共有し、製造業における変革とスマートマニュファクチャリングの可能性を探る旅に出ようとしています。皆様のご参加をお待ちしています。

記

オンライン【工業会横断セミナー スマート製造の旅 #8】概要

日時： 2025 年 12 月 24 日(水) 15:00~17:00 形式： オンライン
費用： 無料(事前登録制) 申込方法： こちらよりお申込みください。
対象： 製造業に携わる企業・団体の皆様(一般公開)

セミナープログラム

- (1) 15:00~15:10 **スマートマニュファクチャリングについて**
北山 健志(工業会委員会委員長)
- (2) 15:10~15:50 **特別講演「OSS を安心・安全に活用するための組織戦略 ~東芝 OSP0 の挑戦~」**
(株)東芝 デジタルイノベーション技術センター OSS 推進部シニアマネージャー
(一社)日本データベース学会 理事 金松基孝氏
- (3) 15:50~16:50 **Q&A、意見交換**
金松氏、北山工業会委員長
モデレーター：中島 一雄(工業会委員会事務局)
- (4) 16:50~17:00 **アンケートのお願い**
野辺工業会副委員長

主催： IEC/スマートマニュファクチャリング システム委員会 国内工業会委員会

問合せ：ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会 事務局 E-Mail：office@jmfri.gr.jp



ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会
Robot Revolution & Industrial IoT Initiative

詳細は、RRI のホームページを参照下さい。 <https://www.jmfri.gr.jp/info/8174/>

会員イベント情報

(一社)情報通信ネットワーク産業協会 TL9000セミナー「導入コース」のご案内

TL 9000 は、製品・サービスの信頼性確保とパフォーマンス向上を目指す、情報通信技術(ICT)分野に特化した品質マネジメントシステムの国際規格です。

【TL 9000 の主な特徴】

- ・この規格は、ISO 9001 をベースとし、これに、情報通信分野独自の要求事項を加えています。
- ・ハードウェア、ソフトウェア、サービスごとの運用パフォーマンスを監視する測定法を規定しています。

情報通信業界の国際団体である TIA クエストフォーラム(TIA QuEST Forum)によって制定され、米国を中心にグローバルに採用されています。

TL 9000 の詳細および関連規格 SCS 9001 の概要につきましては、TIA クエストフォーラム日本ハブのウェブサイトをご覧ください。[URL] → <https://www.tl9000.org/japanhub/>

[一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会\(CIAJ\)](#)では、この度、TL 9000セミナー「導入コース」を開催いたしますので、お知らせいたします。

記

TL9000セミナー「導入コース」概要

- 日 時 : 2025 年 11 月 26 日(水) 10:00 ~ 12:00
- 講 師 : 小林 真一氏、吉崎 久博 氏、TIA 公認研修機関 (株)テクノファ講師
川津 一郎 氏、TIA クエストフォーラム承認 TL 9000トレーニングコース修了
- 主 催 : TIA クエストフォーラム日本ハブ、一般社団法人 情報通信産業ネットワーク協会(CIAJ)
- 申込期限 : 2025 年 11 月 14 日(金) 17:00 対 象 : 一般公開 (無料)
- 開催方法 : オンライン開催:ZOOM によるオンライン説明会
- ※ 受講者には別途 ID とパスワードを送付いたします。
 - ※ お申し込みには CIAJ iS チャンネルへのご登録が必要です
- 以下の URL より、登録及び申し込み下さい。<https://ischannel.ciaj.or.jp/seminars/175>

講演概要

1. 主催者挨拶
2. トピック SCS 9001 概要紹介
3. TL 9000 の解説
 - ・TL 9000 要求事項の基礎(R6.3)
 - ・TL 9000 測定法の基礎(R5.7)
 - ・ホームページから見る TL 9000
4. 質疑応答、アンケート記入
5. 閉会



お問い合わせ先 : TIA クエストフォーラム日本ハブ事務局 吉崎 yoshizaki[at]d03.itscom.net



一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会

[講演会の詳細や申込については、CIAJ 公式ホームページをチェック！！](#)

お知らせ

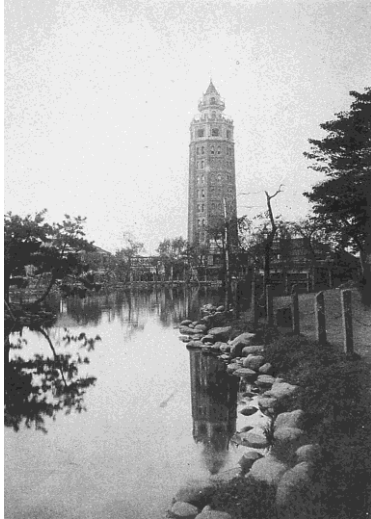
(一社)日本エレベーター協会 11月10日は「エレベーターの日」
「エレベーター・エスカレーター安全利用キャンペーン実施」のお知らせ

一般社団法人日本エレベーター協会では、毎年11月10日をエレベーターの日と定め、安全キャンペーンを毎年、実施しておりますので、お知らせいたします。

○ 11月10日が「エレベーターの日」になったワケ

1890年(明治23年)11月10日、東京・浅草に完成した12階建て展望塔「凌雲閣(りょううんかく)」に日本初の電動式エレベーターが設置されました。この11月10日を、(一社)日本エレベーター協会では1979年に「エレベーターの日」と決めました。2025年3月末現在では、エレベーターが約78万台、エスカレーターが約7万台稼働しています(同協会調査)。

エレベーター・エスカレーターは便利な縦の交通手段であり、ビルの高層化、高齢化及び高福祉化社会の進展を背景にますます必要不可欠な存在となっています。健全な方も、障がいがある方も、高齢の方も、子供達も、全ての方が安全に、安心してご利用頂くため、当協会では「エレベーターの日」を機会に、安全な利用方法をお知らせする活動を毎年行っています。



国立国会図書館デジタルコレクションより

浅草12階「凌雲閣」

記

画像クリックで拡大表示

☆ 2025年度キャンペーン内容 ☆

1. ポスター、ステッカーのデザイン

マスコットキャラクターのベータちゃんとエスカちゃんたちが「思いやりをありがとう」とエレベーター、エスカレーターの安全・安心な利用を呼びかけるポスター・ステッカーを作成し、全国に配布します。

2. 街頭キャンペーン等による呼び掛け

11月10日の「エレベーターの日」全国統一ポスターをデザインしたポケットティッシュ及び蛍光ペン(以下「キャンペーン品」という。)等を、札幌市交通局大通駅構内や阪急電鉄西宮北口駅構内で配布し、エレベーター、エスカレーターの安全・安心な利用を幅広く呼び掛けます。

3. ポスター等の広告及び掲出

全国16社局の鉄道車両等に全国統一ポスター、ステッカー、電照看板で広告します。鉄道事業者(22社局)及び協会(6団体)、札幌市(200校)及び京都市(155校)及び名古屋市中区の市立小学校(10校)、札幌市消防局、大阪市消防局、神戸空港等のご協力を頂き、ポスターの掲出等を実施します。

※ キャンペーン内容の詳細は、(一社)日本エレベーター協会のキャンペーン告知のページをご覧ください。



(一社)日本エレベーター協会公式ホームページでは、[地震発生時におけるエレベーターの安全管理対応について紹介](#)していますのでご覧ください。

㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会

(一社)日本エレベーター協会ホームページで、エレベーター、エスカレーターの利用者に対して、安全利用に関するアンケートを実施します。アンケート回答者の中から抽選で図書カード(1,000円分)を50名様にプレゼントします。(アンケート実施期間：2025年11月1日から2026年1月15日まで)

(一社)ビジネス機械・情報システム産業協会
「CE 学習システム 2025」受験申込スタートのお知らせ

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)のサービスサポート部会では、事務機械業界における顧客のニーズやサービスのあり方から、取り組むべきサービス・サポート業務の検討、CE(カスタムエンジニア)が必要とするスキル向上の検討等について4つの専門TFの活動を通じて取り組んでおります。

サービス・サポート部会/CE スキルタスクフォースでは、サービス・サポート業務における CE スキル向上の一環として「業界共通の CE 学習システム」を 2007 年 8 月に構築し、長きにわたり運営展開中で、延べ 11 万名超の方に受講を頂き、業界標準の教育プラットフォームになっております。

本年度は、新たに「エキスパートコース」を新設しております。従来のコースは「アドバンスコース」と「スタンダードコース」に改編し学習と診断をご用意しました。

CE 職種向けには、テクニカル分野として、「MFP・FAX」を選択式としてご用意しております。全てのコースを通して、業界の共通スキルが修得・向上できますよう運営しております。

この度、2025 年度の CE 学習システムの申し込みが開始されましたので、お知らせいたします。

記

2025 年度 CE 学習システムの概要

ご利用可能期間

- ・ お申し込み : 2025 年 10 月 20 日~2026 年 3 月 13 日
- ・ e-ラーニング: 2025 年 11 月 4 日~2026 年 3 月 31 日
- ・ スキル診断 : 2025 年 11 月 4 日~2026 年 3 月 31 日

JBMIA ホームページの「CE 学習システムログイン画面へ」からお申し込みください。

※サービス・サポート部会ホームページ

- ・ リンク → <https://service.jbmia.or.jp/>
- ・ お申込みリンク → <https://lms.emanabi.jp/jbmia/>

※お問い合わせ先

- ・ E メール: emanabi@emanabi.jp



一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

[\(一社\)ビジネス機械・情報システム産業協会\(JBMIA\)の公式ホームページへのリンクはこちら！！](#)

[JBMIA サービス・サポート部会のホームページへのリンクはこちら！！](#)

[JBMIA 学習システムポータルサイトへリンクはこちらから！！](#)

厚生労働省 「SDS 電子化補助金事業」の期限延長について

厚生労働省より、表題の内容について、周知依頼がありましたので、お知らせいたします。

記

先般、SDS 情報交換のための標準的フォーマットの周知の依頼をさせていただいたところですが、本フォーマットに対応するため自社システムの改修を行う場合や、新たにシステムを導入する場合等において、必要な費用の一部を補助する事業について、**申請期間が令和8年1月9日までに延長**されました。



・SDS 電子化補助金

対 象 : 中小企業

補 助 額 : 経費に要する費用の1/2を補助。上限は 100 万円。

補助対象 : 標準フォーマット形式による SDS の出力・入力機能を有するシステムの導入(買替、改修等)

・補助金の詳細は、以下のホームページをご確認ください。

中災防 HP : <https://www.jisha.or.jp/chusho/sds/index.html>

[SDS電子化補助金パンフレット](#)



癒しのバリ島 ウミガメ(写真提供:M.W 氏)